

図 1 食道表在癌の壁深達度亜分類

2 食道表在癌(2)

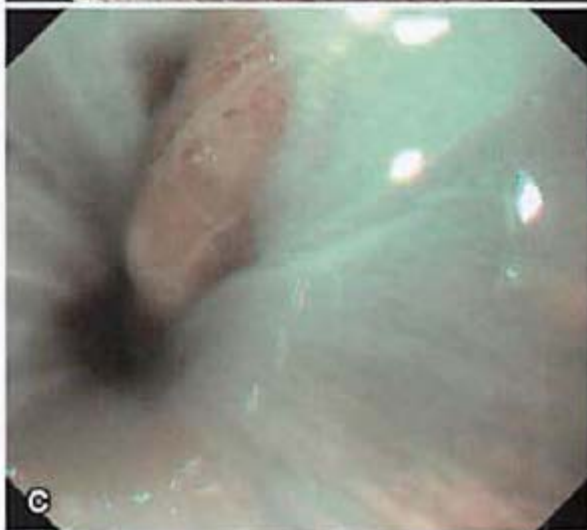
NBI 観察で「brownish area」は全部癌なの？
これは本当なの？!

食道で見かける BA には4つのパターンがあります。もちろん一番は扁平上皮癌(異型上皮を含む)を念頭に置くべきです。しかし、その他にも異所性胃粘膜、炎症、周囲と比較して扁平上皮が薄い場合、などがあります。

図1 NBIでBAとして認識される4つのパターン

a, b: 扁平上皮癌, c, d: 食道入口部の異所性胃粘膜,

e, f: 炎症(逆流性食道炎), g, h: 周囲と比較して扁平上皮が薄い場合.



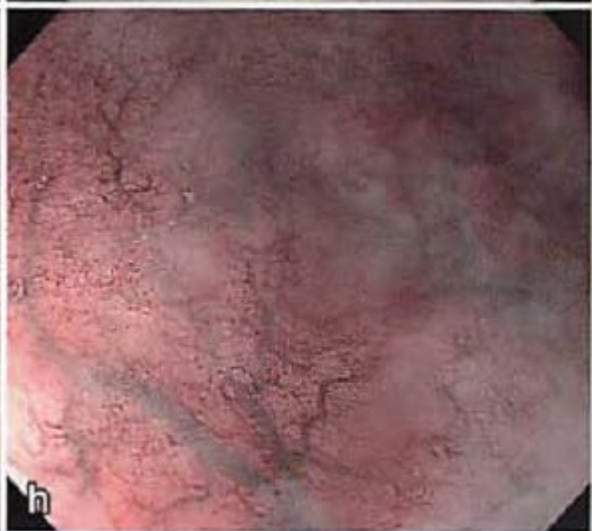
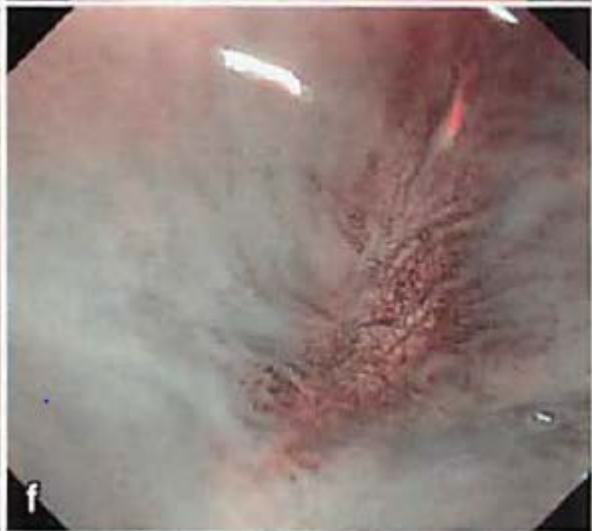


図 1e, f は特に食道胃接合部(esophago-gastric junction ; EGJ)に好発する線状の BA です。今回、図 1g, h も提示しておきたいと思えます。扁平上皮が周囲と比較して薄い部位も BA として認識されます。知っていればなんでもないことなのですが、知らなければ知りません(当たり前か…).

図 1g, h を見てください。この BA は拡大すれば、ただの正常粘膜であることが分かります。さらに分かりやすい症例を 1 例提示します(図 2).